

次号の特集予告

276 巻 4 号 (2021 年 1 月 23 日発行)

卵円孔開存の問題と新しい治療

企画：赤木禎治 (岡山大学循環器内科)

- ・卵円孔は，胎児循環において酸素飽和度の高い臍帯から流入する血流を胎児の全身に送るために必須の心内構造である．出生後は数日から数カ月以内に機能的に閉鎖する．
- ・卵円孔が完全に癒合しない場合，フラップ状の一方向弁の形態となり，右房圧が左房圧を越えた場合に右左短絡を生じるようになる．この状態を卵円孔開存 (PFO) とよぶ．
- ・本特集では PFO の解剖学的特徴から，潜因性脳梗塞の病態，PFO の診断と閉鎖術の基本的知識，さらにさまざまな病態との関連について各領域のエキスパートに執筆をお願いする．